

1 部

学習サポート

各種申込締切について

- 『試験・スクーリング情報ブック2016』にてご確認ください。
 - ・ p. 4～5→学年暦　・ p. 16～19→通信教育部カレンダー
 - ・ p. 45～48→社会福祉士　演習・実習科目関連締切等
 - ・ p. 49～51→精神保健福祉士　演習・実習科目関連締切等

9 / 24 ～ 11 / 4 の追加・変更点

- 「■精神保健福祉援助演習C（C-2）+実習指導B（B-2）」スクーリング申込締切　（変更前）10/31　→　（変更後）9/30
- 追加履修登録のご案内
（変更前）『With』11月号　→　（変更後）『With』9月号（本冊子）
※10/31までの申込を推奨等内容にも変更あり（p. 45～47参照）。
- 「統計情報を見る眼」スクーリング開講時間（11/19分）
（変更前）12：40～17：30　→　（変更後）10：30～17：40

大雨被害により被災された皆様へ

8月末の台風10号による大雨被害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

災害救助法が適用される地域にお住まいで、教材・副教材に損傷を受けられた方には無料再交付をいたします。その他、被災により配慮を希望される場合は通信教育部へご相談ください。

レポート評価の視点

総合福祉学部福祉行政学科・教授

阿部 裕二

1 はじめに

通信教育部において学びの深化に努めている皆様、お疲れ様です。通常の仕事を抱えながらのレポート作成やスクーリングなど、多忙な生活を過ごされていることと推察します。今回は、教員の側からの「レポート評価の視点」について述べたいと思います。これまでも本コーナーにおいて、さまざまな分野の先生方がレポート作成方法のアドバイスを記述しています。したがって、私は、評価の視点からレポート作成の留意点について簡単に述べさせていただきます。この点に関しては、『学習の手引き』においても記述されています。

なお、評価の視点を具体化するにあたっては、私が担当する科目の一つである「公的扶助論」の1単位目の課題を例にとりながら論を進めていきます。

2 レポートの「評価・指導票」における評価

『学習の手引き』の「レポート学習」には、評価基準として、「観点別ルーブリック評価」が示されています。評価の観点としては、「題意把握・内容理解」、「論理構成・考察力」、「表現・文字の正確さ」、「引用・出典明示」、「現実との関連づけ（課題により要求されない場合もある）」です。これらの観点を「A：十分満足できる」、「B：やや努力が必要である」、「C：かなりの努力が必要である」と評価することになります。詳しくは『学習の手引き』をご参照ください。

それでは、「公的扶助論」の課題に沿って、具体的に見てみましょう。「公的扶助論」1単位目の課題（以下、「課題」と略記）は、以下の通りです。

「貧困概念の拡大を踏まえつつ、現代社会における公的扶助（生活保護）の役割について述べなさい」

(1) 題意把握・内容理解

ここでのポイントは、①レポート課題そのものを理解している。②課題に沿って解答がなされている。③答えるべきことからの内容について正確に理解している。④専門用語の意味などについて正確に理解している、などになります。

「課題」において最も多く勘違いが見受けられる点が、「貧困概念の拡大」です。貧困とは何かが、絶対的貧困、相対的貧困、社会的排除そしてケイパビリティの欠如と多様に考えられるようになっている考察が重要となるのです。そのなかで、貧困に対する価値観が、個人責任から社会責任へと移行してきた視点から考察を加えているレポートも散見されます。

このような原稿に遭遇したとき、「題意把握・内容理解」の観点からは不十分と言わざるを得ない、という評価になってしまいます。

(2) 論理構成・考察力

ここでのポイントは、①レポートが論理的に、分かり易く展開されている。②自分なりの視点をもって、課題を考察している。③自分なりの考えが書かれていて、独創性の芽が感じられる、などになります。

「課題」では、分かりやすく展開させるためにも、序論・本論・結論の視点からまとめることが重要なのです。そのためにも見出しをつける（章立てをする）とメリハリがつくと思います。また、独創性の芽に関しては、非常に難しいといえますが、教科書をまとめるだけでなく、自分なりの考え方が必要です。

(3) 表現・文字の正確さ

ここでのポイントは、①誤字・脱字がない。②文章の主語・述語が対応している。③適切な語彙を用いている、などになります。

「課題」では、手書きはもちろんのこと、PC（ワープロソフト使用）において作成する際にも誤字等に留意する必要があります。レポートのなかには「生活保護」を「正確保護」などのような単純な変換ミスも見られます。レポートを作成しても、今一度読み直すあるいは推敲することが重要なのです。また、読み直すことで、自分自身の文章の癖も知ることができます。

(4) 引用・出典明示

ここでのポイントは、引用・出典が明示され、引用した部分については、「」でくくり、どこから引用したのかを、著者名・『書名』・出版社名・出版年（初版）・引用ページ（引用の場合）を挙げて明示している、などになります。

「課題」では、参考文献の記載が全くない場合があります。また、参考文献を1冊だけ（教科書）挙げる方々も少なくありません。本来、参考文献は学びの証となりますので、必ず明記するとともに、1冊だけではなく、複数冊の参照による学びが肝要なのです。1冊だけでは、その文献を単にまとめる、あるいは同一文献のあちらこちらを写してしまう危険性も出てきます。

また、Wikipedia（ウィキペディア）やweb上の辞典を参考文献としている場合がありますが、これらは参考文献としては不適格です。いずれも責任の所在が不明確であり、かならずしも内容が正しいとは限らないからです。

なお、web上に公開されている内容を、完全コピーペーストする方もいらっしゃいますが、評価としては論外です。

(5) 現実との関連づけ

ここでのポイントは、学問的な内容を、身近な出来事や職場での問題、時事問題に関連づけてまとめている、などになります。

「課題」では、事例を述べたとしても、教科書に記載されている内容にとどまっている場合が多くみられます。たとえば、公的扶助（生活保護）の役割としては、ラストセーフティネットとともにバネの役割をもつといわれていますが、日本においても不正受給の問題が取り上げられるとともに、餓死や生活保護を受けられない人々が多くいるなどの事例も多くあります。このような貧困や生活保護の関連する諸問題・諸課題を自分なりの視点でまとめることが重要なのです。

また、数字によって生活保護の現状を記述する際に、データが平成20年より以前の古いデータを記述されるもみられます。現状（現在）の数字から生活保護をみる際には、できるだけ知り得る新しいデータを参照することが肝要です。

みなさんの職場の事例から、個人情報に配慮しつつレポートをまとめている受講生の方々もいらっしゃいます。これらの内容を読むと興味深くもありますし、私自身の視野が広がる思いもさせていただいています。

3 レポート評価と自己評価

今回は、レポートの評価の視点を、私自身が担当する「公的扶助論」を素材として具体的に述べてみました。「公的扶助論」の評価する際の視点をご理解していただけたでしょうか。

みなさんが提出したレポートは、受講科目の単位を認定する（つまり理解の度合いを測る）ことと同時に、皆さんの学びの成果として私たち教員が評価するものです。しかし、みなさんが一生懸命に取り組まれ提出されたレポートは、教員に新たな気づきをもたらすとともに、われわれ教員に

としての自己評価の資料にもなるのです。「現実との関連づけ」でも述べましたが、皆さんの経験を踏まえた数々の事例は、私の視野を広げるとともに、新たな気づきをもたらします。

また、たとえば、再提出の際に改善内容を含めた講評をレポートに記載したにもかかわらず、前回と同様のレポートが返却されたとき、講評に記載した内容が適切であったか否かを再検証し、よりよいアドバイス内容の改善に努めています。その意味においても、レポートは受講生と教員の双方にとって学びを深める（確認する）ツールの一つともいえるのです。

4 リオデジャネイロオリンピックの歓喜のなかで

リオデジャネイロオリンピックにおいて、日本選手の活躍が大きく報道されている中で、私はこの小文を執筆しています。アスリートの方々は、厳しい練習を経て日本代表に選出され、世界のライバルたちとのしごきを削ってその人なりの成果を出しています。言い換えれば練習の延長線上に結果（成果）がついてくるのかも知れません。

通信教育部に在籍される皆さんも、皆さんなりの環境の中で、そして皆さんなりの視点から学びを深め、その成果としてレポート作成に取り組んでみてください。あくまでも学びの延長線上にレポート作成があることに留意することが肝要なのです。

これらのことが、少しでも今後の学び及びレポートを作成する際に参考になれば望外の喜びです。今後のご活躍を祈念申し上げます。

TFU ギャラリー Mini Mori からのお知らせ

仙台駅東口キャンパスに7月にオープンした「TFU ギャラリー Mini Mori」では、下記の展示を行います。

●東日本大震災復興支援 未来絵PROJECT巡回展「絵のちから」

ビートたけし、妻正綱、ダグ・ウェブという3名の日・米・中のアーティストによる復興をサポートする書・絵画展です。

パンフレットは「TFU ギャラリー Mini Mori」ホームページで閲覧可能 (<http://www.tfu.ac.jp/minimori/index.html>)。

●会 場 TFU ギャラリー Mini Mori

(東北福祉大学仙台駅東口キャンパス内)

●開催日 2016年9月9日(金)～10月23日(日)

休 館 日：毎週火曜

開館時間：9：30～17：30 (入場は17：00まで)

●入場料 「大学生」料金1,000円

※受付横「東口キャンパス 総務課」にて学生証提示で「福祉大学生価格」(100円引きの900円)となります。

●主 催 河北新報社・東日本放送・東北福祉大学・未来絵PROJECT
実行委員会

●問い合わせ 河北新報社企画事業部 (Tel 022-211-1332)